

直売向けスイートコーンのトンネル早出し作型の品質改善技術の開発

【研究概要】

スイートコーンは鮮度が低下しやすいため、「とれたて」が提供できる直売に向いた品目である。出荷期を早めると有利に販売できるが、品質や穂重が低下しやすいため、この作型に適する安定生産技術を開発するために試験を実施した。その中で、今年度は下記の3つの成果が得られた。

- (1) 5月下旬から6月中旬どりスイートコーンでは、定植時の苗ステージが穂重に及ぼす影響は判然としなかった。
- (2) 2月播種の「ゴールドラッシュ」及び3月播種の「ゴールドラッシュネオ」では、葉数3～3.5枚の苗で糖度が高かった。
- (3) 収穫時の生育は、2月播種の「ゴールドラッシュ」では、苗ステージが若いほど葉数が多く、3月播種の「ゴールドラッシュネオ」では、苗ステージが若いほど稈長は長く、稈径は太くなった。